WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-533-3992　FAX.042-533-3993

Rotary 第2580地区

持続可能な
インパクトを
生み出そう

東京秋川ロータリークラブ
2026-27年度 10号

2026年10月1日
第2458回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	40	26	14	0	65.0%

本日のテーマ

ガバナー公式訪問

次回以降のプログラム

10月　8日(木)　全員協議会
10月15日(木)　取りやめ
10月22日(木)　例会

第2457回の出席率訂正 会員40名　出席21名　メークアップ12名　欠席7名　免除0名　訂正出席率 82.5%

会長方針　思いやりを持って社会貢献し、友情を深めよう

本日のお客様

・地区ガバナー　谷一 文子 様
・地区副幹事　本井 俊一 様
・多摩グループ ガバナー補佐　芳野 隆宣 様
・多摩グループ 幹事　神尾 律彦 様


谷一文子様


本井俊一様


芳野隆宣様


神尾律彦様

お客様ご挨拶

谷一ガバナーより、クラブ協議会での鋭い質問に感心した旨を述べ、ロータリーの素晴らしさを再認識してほしいとお話しされました。
また、本井地区副幹事、芳野多摩グループガバナー補佐、神尾多摩グループ幹事からもそれぞれご挨拶がありました。

会長報告　町田 勝俊 会長

社会福祉協議会より「秋川流域ふれあいクリスマス会」の実行委員会開催についての連絡を報告。
会員に協力を呼びかけ、盛大な開催に期待を寄せた。



幹事報告　栁 新次 幹事

・ガバナー公式訪問への感謝
来賓の遠方からの訪問、および会員の協力に対して感謝を述べた。
・クラブ総会
11月19日(木)にクラブ総会を開催予定。会計報告も行われるため、会員への出席を呼びかけた。
・各種案内
「風の便り 東日本大震災のことを忘れない」および「希望の風奨学金」の案内。
「ロータリーファミリーの集い」(11月3日(火))の詳細は幹事まで問い合わせるよう案内。
秋川消防少年団からの活動報告書について、閲覧希望者は声をかけるよう案内。



――今週の一言――
「ロータリーは集まることから始まり、語り合うことで深まり、行動することで地域の力になる」という言葉を紹介。

委員会報告


今田一範君


佐藤旭克君


佐藤慶君

○プログラム委員会　今田一範委員長
・10月22日(木)の例会にて、秦委員長が担当の卓話を行う予定。
・9月17日(木)に開催されたロータリーリーダーシップ研究会(RLI)への参加報告。
経験の浅い会員からベテランまでが悩みを語り合える貴重な機会であるとし、クラブからの参加を推奨した。

○青少年奉仕委員会　佐藤旭克委員長
・雨天延期となっていた少年野球大会の開会式を、10月3日(土)8:30より小和田グラウンドにて開催予定。

○社会奉仕委員会　佐藤慶委員長
・10月25日(日):令和8年度福祉バザーを開催予定。未使用物品または寄付金の協力を呼びかけた。
・10月31日(土):侍ジャパン井口監督を招いたベースボールクリニックを開催予定。

―SAA委員会―　ニコニコ 発表　平尾 義和 君

合計金額 26,000円



谷一ガバナーをはじめとする来賓訪問への感謝・歓迎、会員の誕生日祝いなどにより、多数寄せられました。

・町田 勝俊 会長・柳 新次 幹事
谷一地区ガバナー、本井地区副幹事、芳野多摩グループガバナー補佐、神尾多摩グループ幹事、本日はようこそ、おいで下さいました。
・鶴田 和男 君　9/4 傘寿(80歳)を迎えました。仲間の皆様に祝っていただき、ありがとうございました。
・井上 文喜 君　谷一地区ガバナー他、地区役員の皆様、本日はようこそ、おいで下さいました。
・麻沼　恵 君　谷一地区ガバナー他、地区役員の皆様、本日はようこそ、おいで下さいました。
・松村 博文 君　谷一地区ガバナー他、地区役員の皆様、本日はようこそ、おいで下さいました。

クラブ協議会

柳幹事の司会で開始。
町田会長より谷一ガバナー他、地区役員の皆様への歓迎挨拶。
谷一ガバナーのご挨拶をいただいた後、各委員の発表により協議。

○会員増強
目標:現状40名から今期10名増員(候補者約20名)。
方針:若手の勧誘や名誉会員との関係強化。入会前の丁寧な説明と、複数名による新入会員フォロー体制を導入。
事例・施策:同好会・世代間交流・家族会員制度(神田RC事例)や「鮎の塩焼きを食べる会」を活用。
参加率:出席率低下対策として、My Rotary活用や少人数での同伴会合を検討。

○週報・IT
方針:週報・HP・SNS(Instagram/YouTube等)を連動させ、活動の意義や写真を活用して発信。
課題解決:運用の個人依存・ルール不統一を改善し、掲載写真の個人情報(特に子どもの顔出し)に配慮。

○ビジョン戦略・クラブ運営支援
・今年度中に中長期ビジョンを策定・文書化。
・17委員会の重複見直しと横連携を強化し、数値目標・期限を設定して定期検証。

◎各奉仕活動

社会奉仕

一の谷小学校の環境学習、障がい者支援（秋川流域クリスマス）、多摩グループ合同「プロギング（ゴミ拾い×ラン）」を開催予定。

青少年奉仕

・スポーツ偏重からインクルーシブスポーツや図書館支援等へ転換。

・消防少年団支援（44年間継続）も育成継続。

国際奉仕

ポリオ撲滅支援（10/24（土）世界ポリオデー活動や募金）、フィリピンのセントラルダバオRCとの交流、バルセロナ国際大会への参加促進。

○親睦

「鮎の塩焼きを食べる会」などの体験型活動で結束を強化。鶴翔の会などを計画。

○総括

女性会員推進：過去の在籍実績をふまえ、今後の勧誘・参加促進を継続。

地域・行政連携：首長との関係を深め、地域の具体的な課題を把握した奉仕活動を展開。

例会運営：熱心な議論により時間延長となりましたが、非常に実のある質疑応答が行われました。

── 卓 話 ──　ガバナー訪問　谷ー 文子 様

谷ーガバナーの卓話では、「ハッピーロータリー」と「持続可能なインパクト」をテーマに掲げ、ポリオ根絶や平和推進、奉仕活動の重要性が語られました。
また、会員増強とDEI（多様性・公平性・インクルージョン）の推進、温かいクラブ体験による退会防止、制度の柔軟化やDX・AI活用の必要性が強調されました。さらに、国内外の奉仕プロジェクトの実例や次世代支援、ポリオ撲滅ごみ拾いや国際大会への参加が呼びかけられました。













◆編集 週報委員会 瀬戸岡 正人